平成２３年度

人権啓発講演会

◎主催　　山梨県／山梨県人権啓発活動ネットワーク協議会

演題「隠さず、ぼかさず、ごまかさず」
～<今、ここ>の差別問題を考える～

講師　広島修道大学　教授　**森島（もりしま）　吉美（よしみ）**　氏

森島吉美氏は、ドイツ文学者として、15年以上にわたり広島市とドイツの青少年平和交流に関わるとともに、長年にわたり、徹底して<今、ここ>の差別問題（特に部落差別）に関わり、差別を受けた多数の人々に親身に寄り添い、その問題解決に尽力してこられた方です。
家庭生活でも、奥様とユニークな男女共同参画の暮らしを実践中です。

◎とき　　平成２３年　１２月２１日（水）

受付：午後１時から

講演：午後１時３０分～３時１５分

◎ところ　甲府市総合市民会館・芸術ホール（甲府市青沼３丁目５－44）

講師プロフィー

1948年8月20日生まれ。大阪外国語大学大学院卒業。

卒業後、広島修道大学の助手、講師、助教授を経て、1988年から、人文学部教授となる。

【専門】ドイツ文学、人権問題（特に部落差別問題）

【講師からのメッセージ】

ドイツ文学の中でも、部落差別問題においても、共通しているのは、「声にならない声」、「沈黙と言葉」がその主要なテーマになっていることである。部落差別問題へのかかわりにおいては、もっぱら地区のおじいちゃん、おばあちゃんの「小さな声」に耳を傾け、差別の実態を「感性」のレベルでとらえることを主眼においてきた。島根、山口、広島、鳥取といった中国地方が主として僕の活動エリアである。

差別が今もなお残っている。この事実が、僕の研究・活動において全てに優先する前提である。部落差別問題を研究テーマとし、島根、山口、広島、鳥取といった中国地方を中心に活動を展開し、今もなお残る差別の実態について、研究を続け、全国にメッセージを発信している。

○　入場は無料です。　　○　「キャンパスネットやまなし」連携講座です。

◎問い合わせ先　山梨県 企画県民部 県民生活・男女参画課（TEL０５５－２２３－１３５１）